

第十五番 無量院（千手千眼観世音菩薩）

*宗派 天台宗

*御本尊 千手千眼観世音菩薩

*開基 行基菩薩

*開山 中興開山恵海法印 永禄五年（一五六二）三月六日寂

*現住職 第三十三世 大久保公之

*〒二二一〇〇五四 川崎市幸区小倉二丁目七一

*☎〇四四―五八八―〇六六〇

*JR「川崎」駅西口または東急東横線「元住吉」駅より、市営バス、臨港バスとも夢見ヶ崎経由の路線にて、「小倉」下車五分

当山は清水山無量院と号し、過去帳によれば武州品川の僧寿仙房天文五年（一五三六）入院とあるので開基はその頃かと思われる。伝説によると境内にあった松の太木の梢に灯がともり、そこから龍が昇天したと云うことから、これを「龍灯の松」、御本尊を龍灯観音とも云われる。また龍宮城の童話に似た小倉池の玉手箱と云う昔話もある。観音像は山州清水の観音を模した奈良時代の名僧行基菩薩（六六八―七四九）の作と云われている。現在のお堂は戦災をうけたが昭和四十一年に復興した。戦火の中幸い救出された仏像は、後日修復された。なお、文保二年（一三二八年）の年号の板碑がある。

ご詠歌

きよみずに

ふねをうかべて

もろびとを

わたすかずさえ

はかりなきてら



（第15番 無量院）